

パパママ座談会

子育てしながら働き続けることができた職場環境への取り組み
共働き・子育て世代の皆さんの体験談をおいて当社の取り組みを振り返ってみました。

産休、育休を取って仕事を続けることへの不安は？

Aさん 子どもができていても働き続けることは夫婦で話していましたが、一人目の時よりも二人目の時に、仕事上の責任が重くなったことや、健康な赤ちゃんを産まなければ、という思いなどが重なり両立に悩みました。そんな時、別拠点ではありましたが、同じ境遇の先輩に相談できたことは心強く、乗り越えることができました。

Bさん 一人目を妊娠し、産休・育休を取る時には、所属部内の人



Cさん 次男の時は、当時の短時間勤務制度が三歳になるまでだったので、一旦フルタイム勤務を



会社の制度の運用面ではどう感じていますか？



していたのですが、三男を妊娠してまもなく体調を崩し、一ヶ月程仕事を休むことになってしまいました。復職してほどなく、制度の改正で小学校就学前まで短時間勤務ができるようになり、次男が四歳だったので、上司の勧めで短時間勤務に切り替えました。その後は、長男、次男の育児と仕事との両立を図りながら、産休に入ることができ助かりました。

Bさん 私も一人目の産休前に、長女が三歳になったので二ヶ月程フルタイム勤務になりましたが、二人目を出産後、短時間勤務が小学校就学前までに延長とな



り、ほどなく小学三年生の三月末までとなったことは、子育て世代にはありがたい制度の改正でした。これは、子育てしながら働き続けられる制度を設け女性活躍を推進する、という会社方針の現れでもあり、また毎年開催される職場懇談会*1での要望に対して、も経営層が耳を傾けてくれたのかな、と個人的には思っています。

共働きでの子育てについて 男性の皆さんのお考えは？

Dさん 妻の勤め先は、当社よりも制度が充実していましたが、勤め先の店舗は少人数だったので、休職や短時間勤務という例がありません。一人抜けた時の影響が大きいことから、妻が制度を利用できるようにするまでには、勤め



Fさん 私自身は、妻が働きたいと考えているのであれば働くことに賛成しています。夫婦で同じ会社で働いているメリットは、お互いの忙しい時期がわかるので、

子どもの行事参加等、調整できる点です。もともと、二人とも参加しなければならぬ会社行事もあるのですが、そうした時は、祖父母に頼る場合もあります。



子育てと仕事との両立で心がけていることは？

Aさん 子どもにも、職場にも負担をかけている、と考えすぎてし



まうと働けなくなってしまうので、家庭では夫と、職場では上司や同僚とも相談して、スケジュールや役割分担について、コミュニケーションを密にして調整できていることがよかったです。と思っています。

Eさん 私の場合は、妻はフルタイム勤務で、私が短時間勤務を申請しています。短時間勤務の希望を上司に申し出た際には、部内で話し合い、私は予め日程が組まれるシステムメンテナンスを担当する等して、業務分担の調整をしています。

Fさん 女性の方は家族や職場に申し訳ない、と思いつながら仕事をしているかもしれませんが、子育てしながら働く女性が増えてきており、子育て期の働き方、というものを職場でも受容できてきているので、必要以上に申し訳ない、とは思わなくてもよいと思います。実際に私の部署にも短時間勤務をしている子育て中の女性がいますが、短時間勤務を前提として仕事の予定を組んでいますし、限られた時間内で仕事を仕上げるために集中して効率よく働いています。

将来、子育てをしながら働く環境はどう変わる？



Cさん 夫も当社に勤務していますが、夫の部署でも共働きで子育て中の男性が多くなってきていて、子どもの行事や家庭の都合で休みを取る場合には、お互い事情がよくわかるので上司と相談し仕事の予定を調整しているようです。将来的には、今以上に子育てしながら働きやすくなっていると思います。

Dさん 会社の規程整備を担当している立場でもあるので、制度が整って安心する、と言ってもらえるのはうれしく思います。でも大切なのは、制度を利用しやすい職場環境や信頼関係が築けているか、だと皆さんの意見を聞いて改めて思いました。



Eさん 現在、各部署でも働き方改革に取り組んでいるところですが、情報システム事業本部でもIoTの活用用の観点から、テレワークを推進し、多様な働き方が出来るよう対応しています。



司会 仕事と子育てを両立している背景には、上司や先輩、同僚と相談し、助け合えるような良好な関係が築かれているな、と感じました。これからも今以上に働きやすい職場環境を共につくっていきたいと思います。今日はお忙しい中、どうもありがとうございました。

『働きやすい職場をめざして』

いであは、2018年に『くるみん』・『えるぼし 3つ星』認定を受けました。これらは、次世代育成支援対策推進や女性活躍推進に積極的に取り組んでいる企業に対し厚生労働省が認定している愛称です。また、『くるみん』や『えるぼし』の他にも地方自治体が認定する男女共同参画や子育て支援認定制度でも認定を受け、全社で取り組んでいます。これらの認定には、女性だけでなく職員全員が働きやすい職場であることが前提とされています。いであでは、法定で定められた制度以外にも独自の制度を設け、職員と意見交換をしながら、少しずつ制度の改善を進めています。今後も、職員がより働きやすい職場をめざし、積極的に取り組んでいきます！



パパママ座談会

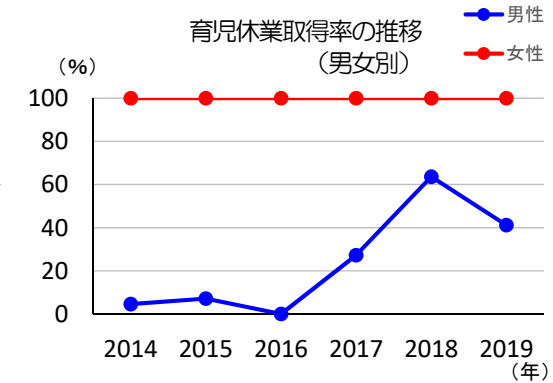


子育てをする職員のための『いであ』制度紹介

法律で定められた産前・産後、育児休業等に関する制度の他、子育てをする職員が働きやすい職場環境を目指し、いであ独自の制度として次の制度を設けています。

- ・短時間勤務（小学校3年生の3月末まで）
- ・時間外勤務の制限（小学校3年生の3月末まで）
- ・看護休暇（小学校3年生の3月末まで）
- ・配偶者出産特別休暇
- ・時差勤務
- ・育児に関する社内制度の個別案内
- ・休業前後の面談による円滑な休業取得と職場復帰支援
- ・育児に関する制度の利用状況の公開
- ・子育て、教育に関する補助などの各種福利厚生サービス

毎年、職員と意見交換をしながら、少しずつ制度の改善を進め、男性の育児休業利用についても浸透してきました！
今後も、子育てをする職員が働きやすい職場づくりを進めていきます！



☆復職に向けての相談をする機会に、職場に子どもを連れてきて近況報告をしてくれる方も多くいます。



Aさん
社会基盤本部
道路橋梁事業部 道路部
短時間勤務
中学校3年、小学校3年



Bさん
管理本部 人事部
短時間勤務
小学校5年、1年



Cさん
管理本部 購買室
短時間勤務
中学校1年、小学校4年、4歳

～メンバープロフィール～

所属部署
現在の利用制度
お子さんの年齢・学年



Dさん
管理本部 総務部
中学校1年、小学校3年



Eさん
情報システム事業本部
情報システム推進室
短時間勤務
小学校4年、6歳



Fさん
環境特定事業部 環境化学部
小学校5年、1年
Bさんとご夫婦

